

【表紙】

| | |
|------------|--|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 東海財務局長 |
| 【提出日】 | 2020年2月5日 |
| 【四半期会計期間】 | 第42期第3四半期（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日） |
| 【会社名】 | 株式会社東祥 |
| 【英訳名】 | TOSHO CO., LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 最高執行責任者 峯名 裕一郎 |
| 【本店の所在の場所】 | 愛知県安城市三河安城町1丁目16番地5 |
| 【電話番号】 | (0566) 79 - 3111 (代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 常務取締役管理本部長 最高財務責任者 桑添 直哉 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 愛知県安城市三河安城町1丁目16番地5 |
| 【電話番号】 | (0566) 79 - 3111 (代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 常務取締役管理本部長 最高財務責任者 桑添 直哉 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (愛知県名古屋市中区栄三丁目8番20号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第41期 第3四半期 連結累計期間 | 第42期 第3四半期 連結累計期間 | 第41期 |
|----------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自2018年 4月1日 至2018年 12月31日 | 自2019年 4月1日 至2019年 12月31日 | 自2018年 4月1日 至2019年 3月31日 |
| 売上高 (千円) | 20,350,490 | 21,439,798 | 27,239,945 |
| 経常利益 (千円) | 5,522,492 | 5,539,782 | 7,304,361 |
| 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円) | 3,266,260 | 3,213,892 | 4,023,480 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 3,591,261 | 3,573,063 | 4,440,439 |
| 純資産額 (千円) | 31,109,608 | 34,878,286 | 31,958,564 |
| 総資産額 (千円) | 63,591,691 | 71,959,477 | 67,726,935 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 (円) | 85.26 | 83.89 | 105.03 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 45.2 | 44.6 | 43.5 |

| 回次 | 第41期 第3四半期 連結会計期間 | 第42期 第3四半期 連結会計期間 |
|-----------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 会計期間 | 自2018年 10月1日 至2018年 12月31日 | 自2019年 10月1日 至2019年 12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益 (円) | 29.35 | 31.69 |

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業内容について、重要な変更はありません。なお、東祥リート投資法人(2019年12月9日公表)を設立いたしました。総資産、売上高、損益及び利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であり、現時点では重要性がないため、非連結子会社としております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境は引き続き改善傾向にあるものの、貿易摩擦の影響による海外経済の不確実性や減速懸念、わが国の労働力不足等を含め不透明な経済環境が続いております。

こうした経済環境のもとで、主力事業であるスポーツクラブ事業におきましては、「お客様の安全と健康を第一に考え、楽しく快適な場所」を提供できるよう、新プログラムの開発、お客様へのホスピタリティの向上等サービス面での強化を図るとともに、広告宣伝、新規開発等の強化に努めました。また、ホテル事業におきましてもインターネット等を利用した広告宣伝の強化による宿泊稼働率の向上に努めました。

当社グループでは、「健康」をキーワードに事業展開を行っており、スポーツクラブや宿泊施設をご利用いただくお客様の健康に寄与する施設サービス業として、一層進化できる店舗運営に努めてまいりました。また、スポーツクラブ事業において2店舗、ホテル事業において4店舗を新規開業いたしました。

なお、東祥リート投資法人(2019年12月9日公表)を設立いたしました。総資産、売上高、損益及び利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であり、現時点では重要性がないため、非連結子会社としております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の財政状態及び当第3四半期連結累計期間の経営成績は次のとおりとなりました。

(財政状態)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4,232百万円増加の71,959百万円となりました。主な要因は、スポーツクラブ及びホテルの建設等により、有形固定資産が4,421百万円増加したことによるものであります。負債総額につきましては、前連結会計年度末に比べ1,312百万円増加の37,081百万円となりました。主な要因は、スポーツクラブ及びホテルの建設等に伴う資金調達として1年内返済予定を含む長期借入金が1,389百万円増加したことによるものであります。純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,919百万円増加し34,878百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(経営成績)

当第3四半期連結累計期間における売上高は21,439百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益5,512百万円(同1.8%増)、経常利益5,539百万円(同0.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,213百万円(同1.6%減)となりました。なお、前期に計上されていた雑収入(国庫補助金、保険解約益)、固定資産売却益等の臨時的な収入が減少したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は減少しております。

また、セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<スポーツクラブ事業>

スポーツクラブ事業における当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、2019年5月に「ホリデイスーツクラブ名古屋中川」、同7月に「ホリデイスーツクラブ松江」を開業した結果、全国91店舗となりました。当社が経営する「ホリデイスーツクラブ」におきましては、「遊ぶ、楽しむ、フィットネス」を基本コンセプトとしており、営業面においては、新プログラムの開発のほか、お客様の健康生活に寄与するサービスの提供に努めました。

前期に開業した9店舗及び新規開業2店舗の増収効果により、当第3四半期連結累計期間のスポーツクラブ事業の売上高は15,162百万円(前年同期比0.9%増)となりました。

<ホテル事業>

ホテル事業における当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、2019年4月に「A Bホテル行橋」、同7月に「A Bホテル蒲郡」、同12月に「A Bホテル大阪堺筋本町」及び「A Bホテル塩尻」を新規開業した結果、合計27店舗となりました。A Bホテル株式会社が運営する「A Bホテル」では、お客様が快眠できる部屋造りやサービスの充実、附帯設備として大浴場の設置を行うなど、お客様がひと時でも心休まる快適な空間の提供に努めました。

前期に開業した5店舗及び新規開業4店舗の増収効果に加え、前々期までに開業した既存18店舗の平均宿泊稼働率が87.1%で推移したことにより、当第3四半期連結累計期間のホテル事業の売上高は4,943百万円(前年同期比20.1%増)となりました。

<不動産事業>

不動産事業における当第3四半期連結会計期間末の所有賃貸マンション部屋数は、新規398室（6棟）が入居を開始したことにより2,825室（67棟）となりました。

当社が経営する賃貸マンション「A・C i t y」では、満室経営となるよう入居者のニーズに合わせた室内設備の充実、入居者が安心して過ごせる住環境の整備に努めました。

また、2019年12月2日及び9日公表のとおり、子会社である東祥アセットマネジメント株式会社が東海地区初となる不動産投資法人「東祥リート投資法人」（2019年12月設立）の資産運用開始の準備を進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の不動産事業の売上高は1,334百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

（2）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間におきまして、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（3）研究開発活動

該当事項はありません。

（4）経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しにつきましては、当第3四半期連結累計期間において重要な変更はありません。

（5）資本の財源及び資金の流動性の分析

当社グループの資金需要のうち主なものは、設備投資資金のほか、販売費及び一般管理費等の営業費用によるものであり、営業費用の主なものは、人件費及び販売手数料であります。

今後もスポーツクラブ事業（「ホリデイスーツクラブ」）及びホテル事業（「A B ホテル」）の開発により、設備投資資金の需要は大きくなるものと予想されますが、リースバック方式の導入等資金需要の伴わない開発の割合を増加させ、投資による資金需要を最小限に抑える創意工夫を行ってまいります。

（6）経営者の問題認識と今後の方針について

スポーツクラブ事業におきましては、新プログラムの開発、地域の皆様の健康増進に寄与するサービスの提供に努め、今後も出店対象地域において年間10店舗を目標に新規開発を行ってまいります。

ホテル事業におきましては、お客様の安全、満足度の向上を第一に考え、サービスの質の向上により稼働率の増加を図るとともに、マーケットの状況、景気動向等を総合的に勘案し、駅前立地を中心に年間5棟を目標に新規開発を行ってまいります。

賃貸マンション「A・C i t y」を主力とする不動産事業におきましては、附帯サービスの提供等新規サービスの企画開発を行い、賃貸マンションの満室経営を目標にサービスの提供を行うとともに、名古屋地区を重点地域として、年間300室を目標に新規開発してまいります。

また、不動産事業におきましては、早期に不動産投資法人の資産運用を行うとともに、事業規模の拡大に努めてまいります。

なお、各事業におきましては、新規開発に伴う設備投資額については、建設プランの見直し等により開発コストの低減に努めるとともに、投資コストに見合う収益構造の構築に取り組んでまいります。

今後の成長戦略におきましては、新規開発物件の徹底した市場調査、資金調達方法の多様化を図り、継続した成長戦略を推進できる体制を構築するとともに、各事業における新商品の開発に取り組んでまいります。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間におきまして、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 76,630,000 |
| 計 | 76,630,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年12月31日) | 提出日現在発行数(株) (2020年2月5日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|-------------------------------------|----------------------------|------------------------------------|-----------|
| 普通株式 | 38,315,000 | 38,315,000 | 東京証券取引所 名古屋証券取引所 各市場第一部 | 単元株式数100株 |
| 計 | 38,315,000 | 38,315,000 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数(株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残高 (千円) |
|----------------------------|-------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 2019年10月1日～ 2019年12月31日 | - | 38,315,000 | - | 1,580,817 | - | 1,444,167 |

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしておりません。

【発行済株式】

2019年12月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|---------------------------|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 8,700 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 38,293,900 | 382,939 | 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 |
| 単元未満株式 | 普通株式 12,400 | - | - |
| 発行済株式総数 | 38,315,000 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 382,939 | - |

(注)「単元未満株式」の欄の普通株式には、当社所有の自己株式81株及び株式会社証券保管振替機構名義の株式(失念株式)40株が含まれております。

【自己株式等】

2019年12月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|------------|---------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| 株式会社 東祥 | 愛知県安城市三河安城町1丁目16番地5 | 8,700 | - | 8,700 | 0.02 |
| 計 | - | 8,700 | - | 8,700 | 0.02 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 15,200,619 | 14,006,911 |
| 売掛金 | 261,015 | 313,408 |
| 営業未収入金 | 235,823 | 553,669 |
| 商品 | 6,756 | 2,985 |
| 貯蔵品 | 76,799 | 91,057 |
| その他 | 482,711 | 821,975 |
| 流動資産合計 | 16,263,726 | 15,790,008 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 49,074,709 | 53,573,158 |
| 減価償却累計額 | 16,980,942 | 18,252,717 |
| 建物及び構築物(純額) | 32,093,766 | 35,320,440 |
| 機械装置及び運搬具 | 1,616,182 | 1,724,086 |
| 減価償却累計額 | 808,961 | 915,450 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 807,221 | 808,635 |
| 工具、器具及び備品 | 1,407,049 | 1,523,719 |
| 減価償却累計額 | 1,076,235 | 1,175,161 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 330,814 | 348,557 |
| 土地 | 8,381,135 | 9,223,799 |
| リース資産 | 4,133,582 | 4,677,323 |
| 減価償却累計額 | 786,720 | 932,124 |
| リース資産(純額) | 3,346,861 | 3,745,198 |
| 建設仮勘定 | 2,786,224 | 2,720,729 |
| 有形固定資産合計 | 47,746,024 | 52,167,361 |
| 無形固定資産 | 130,608 | 156,443 |
| 投資その他の資産 | | |
| 繰延税金資産 | 746,827 | 714,371 |
| その他 | 2,845,522 | 3,140,236 |
| 貸倒引当金 | 11,850 | 11,850 |
| 投資その他の資産合計 | 3,580,499 | 3,842,757 |
| 固定資産合計 | 51,457,131 | 56,166,562 |
| 繰延資産 | | |
| 株式交付費 | 3,172 | 1,744 |
| 社債発行費 | 2,905 | 1,162 |
| 繰延資産合計 | 6,077 | 2,906 |
| 資産合計 | 67,726,935 | 71,959,477 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,083 | 1,225 |
| 短期借入金 | - | 250,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 241,200 | 234,800 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 4,800,762 | 5,096,238 |
| 未払法人税等 | 1,433,689 | 655,982 |
| その他 | 3,063,553 | 3,218,181 |
| 流動負債合計 | 9,540,287 | 9,456,428 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 258,200 | 81,000 |
| 長期借入金 | 19,383,869 | 20,477,717 |
| リース債務 | 2,968,901 | 3,305,936 |
| 役員退職慰労引当金 | 866,820 | 895,790 |
| 退職給付に係る負債 | 56,595 | 69,572 |
| 資産除去債務 | 2,339,449 | 2,573,268 |
| 訴訟損失引当金 | 134,302 | - |
| その他 | 219,946 | 221,477 |
| 固定負債合計 | 26,228,084 | 27,624,762 |
| 負債合計 | 35,768,371 | 37,081,190 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,580,817 | 1,580,817 |
| 資本剰余金 | 2,295,434 | 2,295,434 |
| 利益剰余金 | 25,610,096 | 28,211,088 |
| 自己株式 | 7,459 | 7,725 |
| 株主資本合計 | 29,478,890 | 32,079,615 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 退職給付に係る調整累計額 | 3,060 | 2,573 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,060 | 2,573 |
| 非支配株主持分 | 2,482,734 | 2,801,243 |
| 純資産合計 | 31,958,564 | 34,878,286 |
| 負債純資産合計 | 67,726,935 | 71,959,477 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 20,350,490 | 21,439,798 |
| 売上原価 | 12,891,709 | 14,067,202 |
| 売上総利益 | 7,458,780 | 7,372,596 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 役員報酬 | 338,038 | 326,690 |
| 給料及び賞与 | 374,981 | 386,303 |
| 退職給付費用 | 3,971 | 4,756 |
| その他 | 1,327,005 | 1,142,703 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 2,043,998 | 1,860,452 |
| 営業利益 | 5,414,782 | 5,512,143 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,466 | 2,197 |
| 受取配当金 | 1 | 2 |
| 受取手数料 | 140,987 | 124,576 |
| 雑収入 | 102,132 | 36,451 |
| 営業外収益合計 | 245,588 | 163,227 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 115,665 | 114,234 |
| 雑損失 | 22,211 | 21,354 |
| 営業外費用合計 | 137,877 | 135,588 |
| 経常利益 | 5,522,492 | 5,539,782 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 133,292 | 311 |
| 訴訟損失引当金戻入額 | - | 56,746 |
| 特別利益合計 | 133,292 | 57,058 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 782 | - |
| 固定資産除却損 | 5,917 | 5,077 |
| 特別損失合計 | 6,700 | 5,077 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,649,085 | 5,591,762 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,009,066 | 1,986,940 |
| 法人税等調整額 | 48,920 | 32,246 |
| 法人税等合計 | 2,057,986 | 2,019,186 |
| 四半期純利益 | 3,591,099 | 3,572,576 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 324,838 | 358,684 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 3,266,260 | 3,213,892 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 3,591,099 | 3,572,576 |
| その他の包括利益 | | |
| 退職給付に係る調整額 | 162 | 487 |
| その他の包括利益合計 | 162 | 487 |
| 四半期包括利益 | 3,591,261 | 3,573,063 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,266,423 | 3,214,379 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 324,838 | 358,684 |

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|-------|--|--|
| 減価償却費 | 1,515,148千円 | 1,737,310千円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 2018年6月21日 定時株主総会 | 普通株式 | 306,451 | 8.0 | 2018年3月31日 | 2018年6月22日 | 利益剰余金 |
| 2018年10月9日 取締役会 | 普通株式 | 268,145 | 7.0 | 2018年9月30日 | 2018年12月11日 | 利益剰余金 |

(注) 2018年6月21日定時株主総会決議による配当額については、グループ会社上場記念配当2円を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 2019年6月19日 定時株主総会 | 普通株式 | 306,450 | 8.0 | 2019年3月31日 | 2019年6月20日 | 利益剰余金 |
| 2019年10月15日 取締役会 | 普通株式 | 306,449 | 8.0 | 2019年9月30日 | 2019年12月10日 | 利益剰余金 |

(注) 2019年6月19日定時株主総会決議による配当額については、創立40周年記念配当1円を含んでおります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|---------------|-----------|-----------|------------|-------------|-------------------------------|
| | スポーツクラブ 事業 | ホテル事業 | 不動産事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 15,028,099 | 4,114,817 | 1,207,574 | 20,350,490 | - | 20,350,490 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | 7,677 | 8,717 | 16,395 | 16,395 | - |
| 計 | 15,028,099 | 4,122,494 | 1,216,292 | 20,366,885 | 16,395 | 20,350,490 |
| セグメント利益 | 3,862,383 | 1,105,542 | 439,239 | 5,407,165 | 7,616 | 5,414,782 |

(注)1. セグメント利益の調整額7,616千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|---------------|-----------|-----------|------------|-------------|-------------------------------|
| | スポーツクラブ 事業 | ホテル事業 | 不動産事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 15,162,725 | 4,943,065 | 1,334,006 | 21,439,798 | - | 21,439,798 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | 11,728 | 9,237 | 20,965 | 20,965 | - |
| 計 | 15,162,725 | 4,954,793 | 1,343,244 | 21,460,763 | 20,965 | 21,439,798 |
| セグメント利益 | 3,815,774 | 1,266,347 | 420,977 | 5,503,100 | 9,043 | 5,512,143 |

(注)1. セグメント利益の調整額9,043千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第 3 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 12 月 31 日) | 当第 3 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 12 月 31 日) |
|--------------------------------|--|--|
| 1 株当たり四半期純利益 | 85円26銭 | 83円89銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円) | 3,266,260 | 3,213,892 |
| 普通株主に帰属しない金額 (千円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円) | 3,266,260 | 3,213,892 |
| 普通株式の期中平均株式数 (千株) | 38,306 | 38,306 |

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

2019年10月15日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(1) 中間配当による配当金の総額 306,449千円

(2) 1 株当たりの金額 8 円

(3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 2019年12月10日

(注) 2019年 9 月 30 日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月5日

株式会社東祥
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 松 本 千 佳 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 近 藤 繁 紀 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社東祥の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社東祥及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が四半期財務諸表に添付する形で別途保管しております。

2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。